

3月定例会では17名の議員が登壇しました。新年度における新規事業や重点施策に関することなど質問内容は多岐にわたりました。



防犯・防災

大村消防署南分署の設置について

Q 長崎医療センターが提出した医療教育センター構築事業が国の採択を受けたことにより、南分署としての消防業務も併設できる教育・消防棟の設置が実現することになったのか。また、建設に至るまでの今後の見通しについて尋ねる。

A 国の承認がなされ、県に對し特例交付金の交付が決定されたことから、第2次長崎県地域医療再生計画において南分署を設置するという方向で進んでいる。今後、県議会での議決を経て、県央組合で議論されていく。

消防団員の職務の範囲

Q 東日本大震災において多くの消防団員の方々が職務中に犠牲になられた。大村市でも多くの消防団員の方々が命がけで活動されている。団員の安全対策のため、行動マニュアルの作成と装備の充実を図るよう求める。

A 消防団員の方々の活動にあたり、自らの身の安全を確保することが第一である。現在、大村市消防団には行動マニュアルがないので平成24年度中に作成する。装備についても消防団と協議しながら充実させていきたい。

自主防災組織の組織率向上の対策を求める

Q 施政方針では「自主防災組織の結成に全力を挙げ、組織率の向上を図る」とあるが、平成24年度予算ではわずか20万円しか計上されていない。これでは5団体しか結成できない。施政方針で掲げたことがかけ声だけになるのではないか。

A 組織率を向上するために最大の努力をし、必要に応じて補正予算でも対応したいと考えている。また、県が運営費の補助金を出す予定になっており、結成時の補助のみならず、防災訓練時の運営費補助も考えている。



生活・環境

大村湾の浄化対策について

Q 大村湾でのアオサの異常発生を受け、その原因と思われる下水処理水について、排水管を沖へ延伸することを検討されたが、延伸しないとの結論であった。その代替案として、Hiビーズ（石炭灰造粒物）による富栄養抑制対策を提案する。

A 大村湾浄化については水酸化マグネシウムの散布による実証実験を行っているが、Hiビーズの効果は認識しているので今後、研究したい。

資源ゴミ、不燃ゴミの回収業務について

Q 可燃ゴミの回収業務は競争入札が行われているが、資源ゴミ、不燃ゴミの回収業務は40年近く随意契約で行われている。法律や条例に基づき公平公正であるべき市の契約に疑問を持たざるを得ない。善処するよう要望する。

A これまでの経過を踏まえ、内部で協議し、早急に結論を出したい。